

居心地のよい リビング

A Comfortable
Living Room.

よく使うものはすぐに取り出せる場所にあり、
こまごまとしたものは整理・収納をして雑然とした状態を作らない——
居心地のよいリビングの環境づくりについて、考えてみませんか。

大型の家具を一つだけ 取り入れるのも片付く秘訣

用途に合わせて「収納場所」を作ること、リビングの雑然とした印象は解消されますが、オーディオボードや書棚、小物入れなどを幾つもそろえるのではなく、大型の収納家具を一つ用意するののも一つの方法。家を新築やリフォームする際に作り付けで設置してもよいですし、インテリアショップでは大きさや色、材質など多種多様なものをチェックするのもよいでしょう。オーディオがキレイに収まるだけでなく、雑誌や新聞、こまごまとしたものを大きさが異なる引き出しや棚にスッキリしまうことができます。新聞などは週に一度、休日にまとめて物置などに移動すれば楽でしょう。「このアイテムはここに必ず収納する」という場所を決めるだけで、使い勝手がよくなり、部屋全体が片付き、そこで過ごす時間も心地よくなるでしょう。



家具や色の選び方を工夫して 心地よい空間に

リビングは家族が集まりゲストが訪れることも多い場所だからこそ、インテリアにもこだわりたいもの。ただし、あまり個性の強いものを選ぶと、居心地がよいのは「その雰囲気好きな人だけ」ということになってしまいます。人が多く集まる場所は、みんながリラックスできる色や素材を選ぶようにすることをお勧めします。例えばベージュ系や茶系の家具やインテリアは、全体的にまとまりやすく、落ち着いた色のコーディネートに。アクセントを付けたい場合は、差し色として夏はグリーンやブルー、秋～冬は暖かみのある赤、春はパステルカラーなどを小物に取り入れるとよいでしょう。また、背の高い家具は圧迫感があるので必要最少限にして、できるだけ背の低い家具でそろえると空間を広く感じられます。背の高い家具も置きたいという場合は、部屋の奥に設置することで室内に入ってきたときの圧迫感を防ぎ、隣に置く家具は同系色のものを選ぶと統一感も生まれるでしょう。

キレイに片付き、
使いやすい
リビングとは

「収納場所」を用意して、 上手に整理整頓

目につく場所にこまごまとしたものがなにもなく、すっきり片付いた部屋を訪れると居心地が良いですね。家族が集まる自宅のリビングも、そのような環境づくりをしてみませんか。まずは「毎日使うもの」「毎日届けられるもの」をどこに収納するかを決めましょう。手紙や領収書などこまごまとしたものを整理する前に一時的に置くケース、その日に着たり持ち歩いた洋服やバッグを陰干しするための壁掛けフック、毎日読む新聞や毎月買う雑誌などを入れるカゴなど、散らかりがちなるものをまとめるための「収納場所」を、大きさや用途に合わせて作ると、さまざまなるものをリビングに置きっぱなしにした状態を解消できます。この「収納場所」となる入れ物は、材質やデザイン、色合いを統一することで、部屋全体にまとまりが生まれてすっきりと片付いた印象になりますよ。